

2017年11月16日

各位

会社名 宇部エクシモ株式会社
本社所在地 東京都中央区日本橋富沢町9番19号
問合せ先 総務部長 多田 厚美
TEL 03-6667-2411

「ツインコーン®」の住宅用通気材への採用について

宇部エクシモ株式会社(社長:小塚健次)のポリプロピレン中空構造板(商品名:「ツインコーン®」)が、日本住環境株式会社の新規住宅用通気材に採用された。

高断熱・高气密住宅を提案し、快適で長持ちする住宅創りを提案する住宅資材メーカーの日本住環境株式会社は30年ほど前からプラスチックダンボール「ダンプレート®」のハーモニカ構造を利用した木造住宅用の通気材を開発販売している。

木造住宅では、構造材となる木材の雨水や湿気による水分を効率的に乾燥させることで、耐久性の向上を図ることができるが、長期間にわたって耐久性を担保するためには、構造材の通気・換気材が必要不可欠となっている。従来、通気材の主な使用箇所としては、屋根裏換気に使用する棟換気材や軒裏換気材が中心であったが、近年は建物の形状の多様化により、今まで換気・通気がされていなかった箇所においても換気のニーズが高くなり、より効率的な換気部材が求められるようになった。

そこで、日本住環境株式会社はハーモニカ構造の「ダンプレート®」に比べ、強度があり潰れにくく、連続した中空部により通気効果の高い「ツインコーン®」に着目し、新たな通気部材の開発を進めている。「ツインコーン®」は、独自開発の4層構造のポリプロピレン製中空構造板で、軽量、高剛性、耐圧縮強度に優れるという特徴に加え、シート全面にわたる連続空間を有しているため通気・通水機能があり、棚板、畳などの芯材や様々な土木・建材用途にも採用されている。

その一つが木造住宅のバルコニーの手すり上部に使用する「笠木天端(かさぎてんぱ)スパーサー」である。今までバルコニーの手すりの上部分は、雨漏りが多い場所のため、できるだけ雨水の浸入を避けるように防水性能を高めていたが、これにより、構造材である木材の水分や浸入した雨水などの発散が妨げられ、腐朽してしまうという問題があった。「笠木天端スパーサー」はバルコニーの手すり上部に「ツインコーン®」を用いて、通気スペースを設けることで、手すりの壁の外側と内側の通気層とを連通させながら、湿気を外気へ逃がすことができる通気材で、構造材の腐朽を防ぎ、高寿命化に貢献できる。さらに耐圧縮強度の高い「ツインコーン®」を養生下地材として使用することもできる。



「ツインコーン®」断面写真



「笠木天端スパーサー」※



「笠木天端スパーサー」施工例※

(※写真提供:日本住環境株式会社)

通気材製造販売元:日本住環境株式会社 TEL:03-5289-3302

URL:<http://www.njkk.co.jp/>